Zscaler™ IoT Device Visibility の概要

Zscaler IoT Device Visibility のメリット

包括的な可視性
組織全体の IoT デバイス、サーバー、管理対象外のユーザー デバイスを完全に可視化します。

管理の簡素化と生産性の向上
IoT デバイスの一元管理、継続的なモニタリング、AI/ML による分類を通じて、管理負荷を削減します。

リスクの軽減
組織全体の IoT デバイスに対して、デバイスの動作とアイデンティティーに基づいたゼロトラスト接続を実現します。

IoT デバイスやシャドー デバイス、未知のデバイスの動作は増加、多様化しており、組織には大きな死角が生まれています。そうしたなか、組織はネットワーク上の IoT デバイスやそれがもたらし得るリスクに関する基本的な可視性の確保にも困難を抱えています。こうしたデバイスの多くはセキュリティを考慮に入れた設計になっておらず、暗号化が脆弱で、パッチ適用や更新が難しく、従来のエージェントをホストすることもできません。これによって組織は攻撃に対して脆弱になっており、危険な状況にあると言えます。

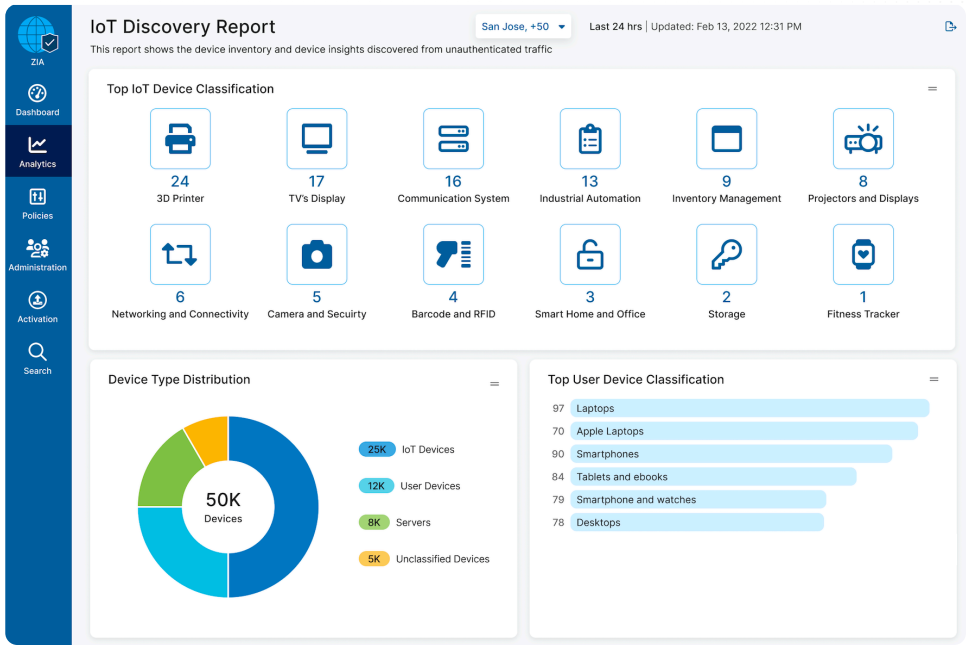
IoT デバイスを保護するには、まずネットワークに接続されているデバイスを把握し、そのデバイスが実行している内容を知る必要があります。残念ながら、従来のセキュリティ アプローチは次のような問題を抱えており、IoT デバイスを特定、分類、保護するうえで障害となっています。

- 手動での定期的なプロセスが必要で、特定時点のデータしか把握できない
- 全体像を把握するには管理者がさまざまなツールから断片的な情報を収集し、つなぎ合わせる必要がある
- アクティブ スキャン手法によるデバイスの検出がサービスの中断につながることが多い
- 別のアプローチをとる場合は、データを受動的に収集するためにセンサーをインストールおよび管理する必要があり、管理負担の増大を招く

Zscaler IoT Device Visibility は、組織全体の IoT デバイス、サーバー、管理対象外のユーザー デバイスを包括的に表示します。また、IoT デバイスの自動検出、継続的なモニタリング、AI/ML による分類を通じて死角を排除し、IoT 環境の全体像を明らかにして管理負担を軽減します。これにより、デバイスの安全性に自信を持って組織全体への IoT の実装を進め、生産性とビジネス アジリティーを高めることが可能です。

Zscaler IoT Device Visibility の主な機能

- **シャドー IoT デバイスの検出：**認証されていないトラフィックを分析して、ネットワークに接続している新規または未承認の IoT デバイスを特定します。
- **IoT の常時モニタリング：**IoT 環境に関するリアルタイムのインサイトを提供する継続的なモニタリングで、死角を排除します。
- **AI/ML による自動分類：**手動のプロセスを必要とする従来のアプローチではなく、AI/ML を活用して、アクティビティーや振る舞いに基づいて IoT デバイスの種類を自動的かつ正確に識別します。
- **一元的な可視性：**組織全体の IoT デバイス、サーバー、管理対象外のユーザー デバイスを網羅する形で、デバイスの分類、データ消費、使用されたアプリ、アクセス先などに関する完全なコンテキストを単一の画面で表示します。
- **管理の簡素化：**手動による評価や断片化したデバイスのコンテキスト、そしてあらゆる場所の IoT デバイスからデータを収集するためのセンサーの配置と管理の必要性を排除し、生産性を高め、管理負担を軽減します。



IoT の安全な導入を実現

Zscaler IoT Device Visibility は、組織全体での IoT の安全な導入を実現します。世界最大のクラウド型セキュリティ プラットフォームである Zscaler Zero Trust Exchange の一部として、リスクの軽減、管理の簡素化、生産性とビジネス アジリティー向上を可能にします。

Zscaler IoT Device Visibility の詳細については、
こちらの Web ページをご確認ください。

zscaler™ | Experience your world, secured.™

Zscaler, Inc. (HQ)
120 Holger Way
San Jose, CA 95134
+1 408.533.0288
zscaler.jp